

# 北海道浮魚ニュース

令和2(2020)年度5号

2020年6月15日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎道東太平洋イカ類北上期資源調査結果

調査船・北辰丸により実施したスルメイカ資源調査の結果をお知らせします。

### 調査海域におけるスルメイカの CPUE は低かった。

調査期間：2020年6月4～6月11日

調査海域：道東太平洋（北緯41度線上の7調査点）

調査船：北辰丸（釧路水産試験場所属）、イカ釣機5台装備

調査方法：イカ釣機による夜間漁獲調査、CTDによる海洋観測

### 1. 水温分布（図1）

漁獲調査点7点の表面水温は14.3～16.0℃（昨年9.4～17.9℃）、50m深水温は7.2～11.3℃（昨年1.7～13.3℃）の範囲にありました。昨年同時期の調査との比較では、表面・50m深いずれについても、7地点中調査海域東端のSt.13を除く6点、で昨年を水温を上回り、ほぼ全ての調査点で、スルメイカの分布の目安とされる水深50mで10℃以上、もしくはそれに近い環境となっていました。

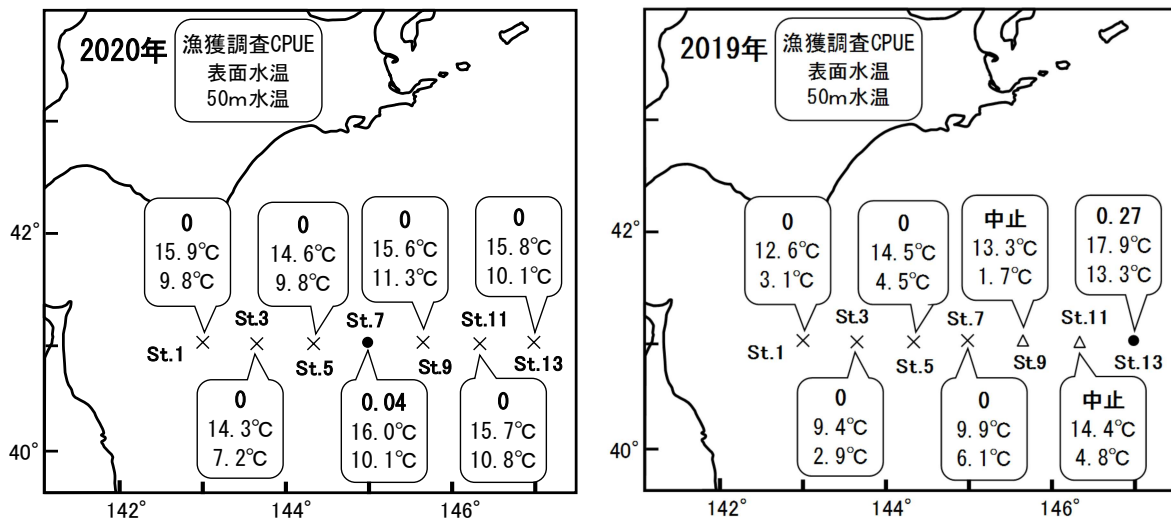


図1 各漁獲調査点でのスルメイカの漁獲調査結果と表面および50m深水温（左：2020年、右：2019年）。●は漁獲あり。×は漁獲なし。△は漁獲調査中止

### 2. 分布密度（図1、図2、表1）

各漁獲調査のCPUE（イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）を基準としてスルメイカの分布密度を調べました。漁獲調査点7点で漁獲調査を実施し、うち6点は漁獲がなく、St.7で1尾（CPUE：0.04）を漁獲しました。全調査点の平均CPUEは0.01で昨年（平均CPUE：0.05）を下回り、過去2番目に低い値となりました。ただし、7調査点中St.9及びSt.13を除く5点で、イカ釣機で漁獲が難しい外套長10cm程度の小型スルメイカの群れが船上から目視され、St.1ではたも網で1尾が採集されました。

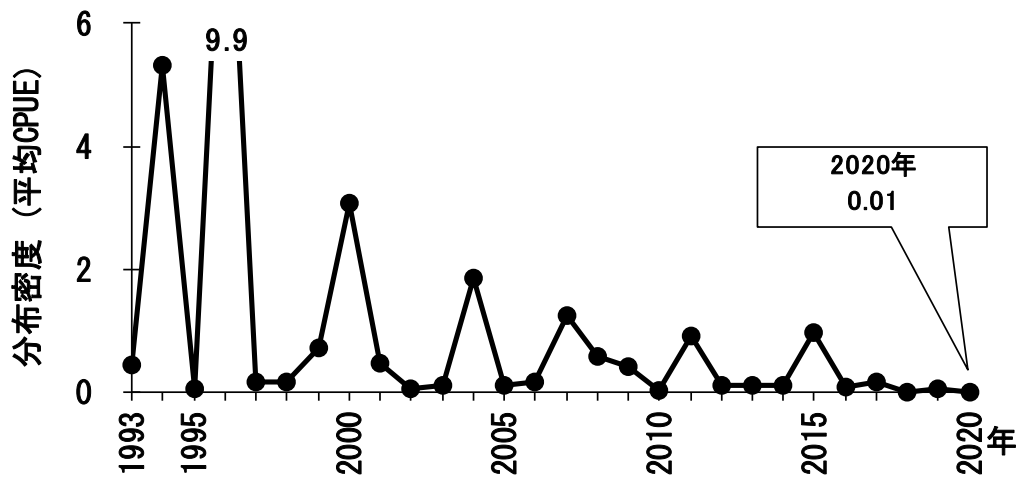


図2 スルメイカの分布密度（平均 CPUE）の経年変化

表1 2010～2020年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2010年 6/7～14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7～14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9～16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3～10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2～9	20	0.11	13-18	15	7
2015年 6/4～12	159	0.97	13-20	16	7
2016年 6/7～13	12	0.08	14-18	15-17	6
2017年 6/7～15	24	0.16	11-17	15	6
2018年 6/5～11	0	0.00	-	-	5
2019年 6/5～11	4	0.05	10-11	10,11	5
2020年 6/4～11	1	0.01	11	11	7

### 3. 魚体サイズ（表1）

St.7で釣獲調査により漁獲されたスルメイカ1尾の外套長（胴長）は11.1cmで、過去10年に比べ小型でした。St.1でたも網により漁獲されたスルメイカ1尾の外套長は9.7cmでした。